

## 環境配慮型製品のニーズ及び市場規模等に関する調査について

### 【調査対象】

対象国：ドイツ・アメリカ・韓国・台湾の4か国

対象分野：複写機、プリンタ、パソコン、テレビ、プロジェクタ

### 【調査方針】

日本においては、環境配慮型製品のニーズや市場規模等に関する統計や意識調査は、国や業界団体などにより数多く実施されているものの、調査対象国においても同様な調査結果が存在しているかが未知数である。このため本年度は、それらの情報の整備状況とその内容等について現状を把握し、今後の調査方法の課題やそれに対する対応方向を整理する。

### 【調査方法】

- ・ GPP/タイプI環境ラベル担当者へのEメール、国際会議の場等でのヒアリング
- ・ 対象製品の業界団体等の有無を調査 →ウェブサイト等の公開情報を収集
- ・ ウェブサイト及び文献による統計データの入手

### 【調査項目】

- ・ 調査対象品目の市場規模に関わる統計データの入手、解析
- ・ 環境配慮型製品の受容性に関する調査報告書（消費者意識調査等）の入手、解析
- ・ 環境ニーズに関するヒアリング
  - 当該国において、「省エネ」「化学物質」「省資源」など環境配慮型製品として重視される観点は何か。（「環境」ニーズ）
  - 当該国において、「耐久性」「高性能（付加機能等）」「デザイン」「操作性」など消費者が重視する観点は何か。（「品質」ニーズ）
  - 環境性能とのバランス（どのくらい高くても買うか、環境と品質の優先順位など）（「価格」ニーズ）
  - 購買経路（家電量販店等）、購入にあたって参考とする情報（価格比較サイトや商品テスト誌）（購買行動）

以上